



2019年3月期 第2四半期決算説明資料

(2018年4月～2018年9月)

2018年11月9日



証券コード:1905

会社概要	3～4ページ
2019年3月期 第2四半期決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)	10ページ
2019年3月期の業績予想(連結)	11ページ
連結売上高予想	12ページ
2019年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2014/3期から2019/3期)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2014/3期から2019/3期)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、
建築・土木構造物をお使いになられる全ての人々に、
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、
お客様のご要望にお応えしてまいります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 176名 (連結) 264名 ※2018年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社) (株)テノックス技研、(株)複合技術研究所 (非連結子会社) TENOX ASIA COMPANY LIMITED(ベトナム)

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス (当社)	基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売 (主な工法) 杭工法 : TN-X工法、ガンテツパイル工法、TN工法 NSエコパイル工法、ATTコラム工法 地盤改良工法 : テノコラム工法、ピュアパイル工法
(株)テノックス技研	(株)テノックスに対する機材の賃貸を含む施工協力
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

2019年3月期 第2四半期決算の概要(連結)



- **売上高**：物流施設関連工事が減少するも大型の鉄道関連の杭工事や民間工場の地盤改良工事などが増加したことにより増収
- **利益**：売上高の増加等による増益要因があったものの、前期に発生した大型の建築基礎工事における施工不具合の復旧に伴う工事関連費用等を計上したことに伴い減益

■売上高	115億69百万円	前年同期比 +1億41百万円(+1.2%) ✓ 主に鉄道関連の杭工事や民間工場の地盤改良工事が増加
■営業利益	5億00百万円	前年同期比 △3億38百万円(△40.3%) ✓ 主に前期に発生した施工不具合の復旧に伴う工事関連費用等を計上
■経常利益	5億23百万円	前年同期比 △3億35百万円(△39.1%) ✓ 主に営業利益の減益による
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	3億51百万円	前年同期比 △2億46百万円(△41.2%) ✓ 主に経常利益の減益による
■受注高	125億30百万円	前年同期比 +16億35百万円(+15.0%)
■受注残高	77億97百万円	前期末比 +10億62百万円(+15.8%) ✓ 当四半期末残高は、鉄道・道路関連の土木工事など

連結損益計算書の概要



(単位:百万円、%)

	2017/9	売上高	2018/9	売上高	前年同期比	
	(上期)	比率	(上期)	比率		
売上高	11,427	—	11,569	—	+141	+1.2%
売上原価	9,681	84.7%	10,203	88.2%	+521	+5.4%
売上総利益	1,745	15.3%	1,365	11.8%	△379	△21.8%
販売費及び 一般管理費	906	7.9%	864	7.5%	△41	△4.5%
営業利益	839	7.3%	500	4.3%	△338	△40.3%
経常利益	859	7.5%	523	4.5%	△335	△39.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	597	5.2%	351	3.0%	△246	△41.2%

連結貸借対照表の概要



- 流動資産:主に第2四半期末に向けて大型工事が順調に進捗したことにより売上債権が増加
- 流動負債:主に売上原価の増加による仕入債務の増加

(単位:百万円、%)

	2018/3末	2018/9末	前期末比	
流動資産	15,140	16,109	+969	+6.4%
固定資産	2,852	2,726	△125	△4.4%
資産合計	17,992	18,835	+843	+4.7%
流動負債	6,084	6,780	+696	+11.4%
固定負債	514	507	△6	△1.3%
負債合計	6,599	7,288	+689	+10.5%
純資産合計	11,393	11,546	+153	+1.3%
(自己資本比率)	(61.7%)	(59.8%)	(△1.9ポイント)	—

2018/3末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

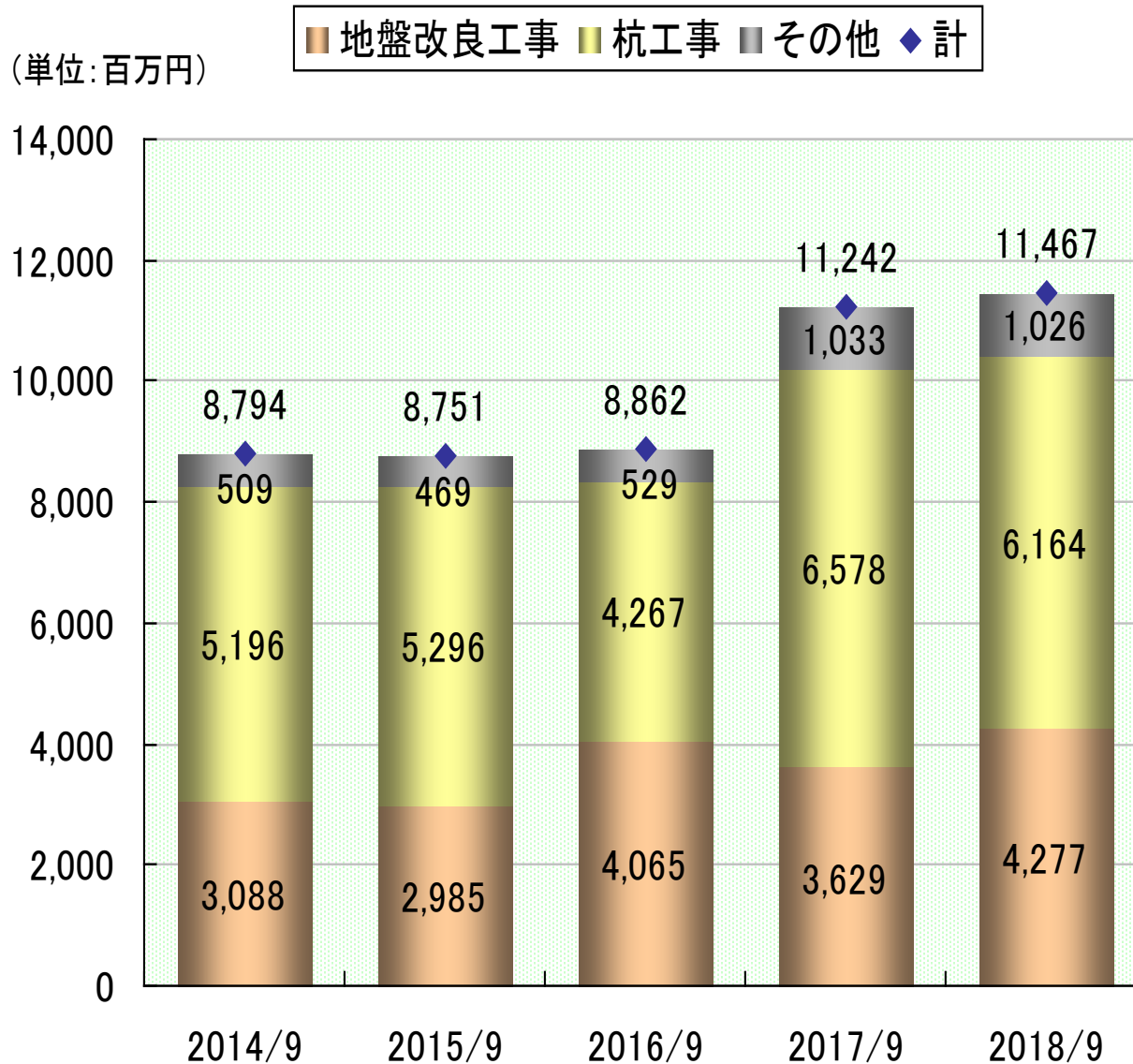
連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	2017/9 (上期)	2018/9 (上期)	当四半期の主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	+503	△211	税金等調整前四半期純利益	+5億18百万円
			減価償却費	+2億56百万円
			売上債権の増加	△19億8百万円
			仕入債務の増加	+10億3百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△377	△527	有形固定資産の売却による収入	+13百万円
			有形固定資産の取得による支出	△5億1百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△106	△218	配当金の支払額	△1億6百万円
現金及び現金同等物 の増減額	+19	△957		
現金及び現金同等物 の四半期末残高	7,172	7,642		

売上高の推移(単体)

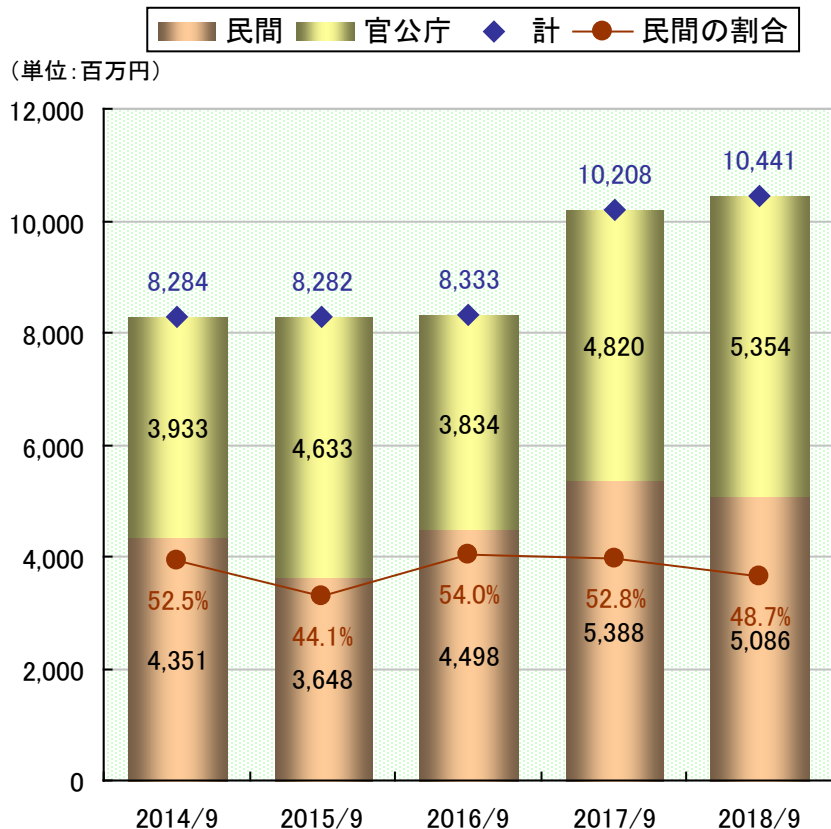


- 杭工事:
主に鉄道関連工事が増加したものの、物流施設や道路関連工事が減少
- 地盤改良工事:
主に大型の民間工場関連工事が増加

売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)

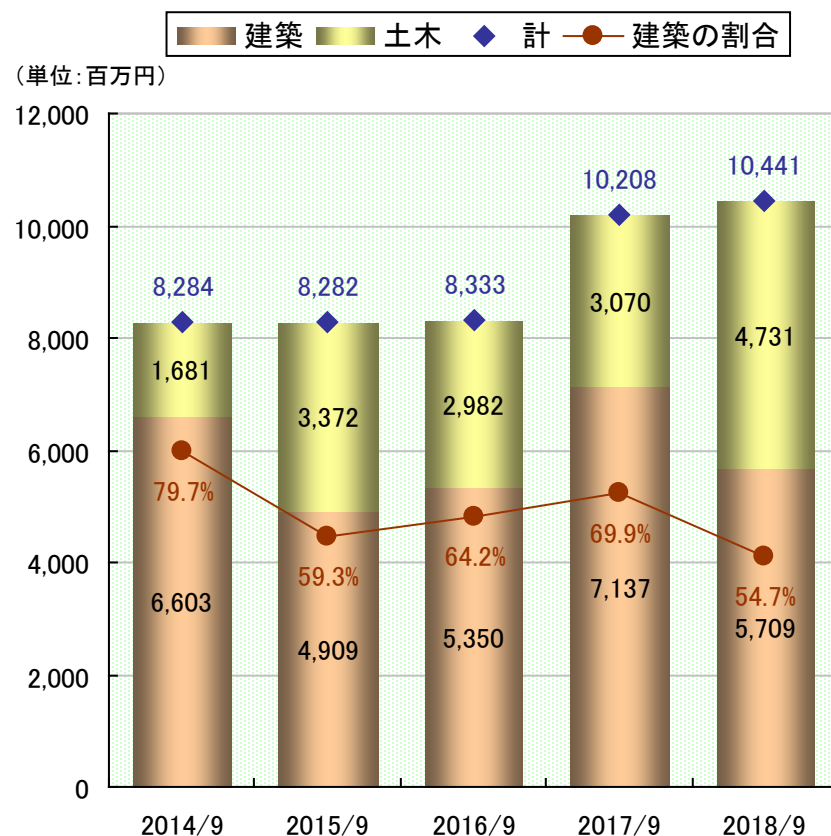


民間vs官公庁の推移(単体)



- 民間は、物流施設などが減少
- 官公庁は、鉄道関連工事などが増加

建築vs土木の推移(単体)



- 建築は、物流施設などが減少
- 土木は、鉄道関連工事などが増加

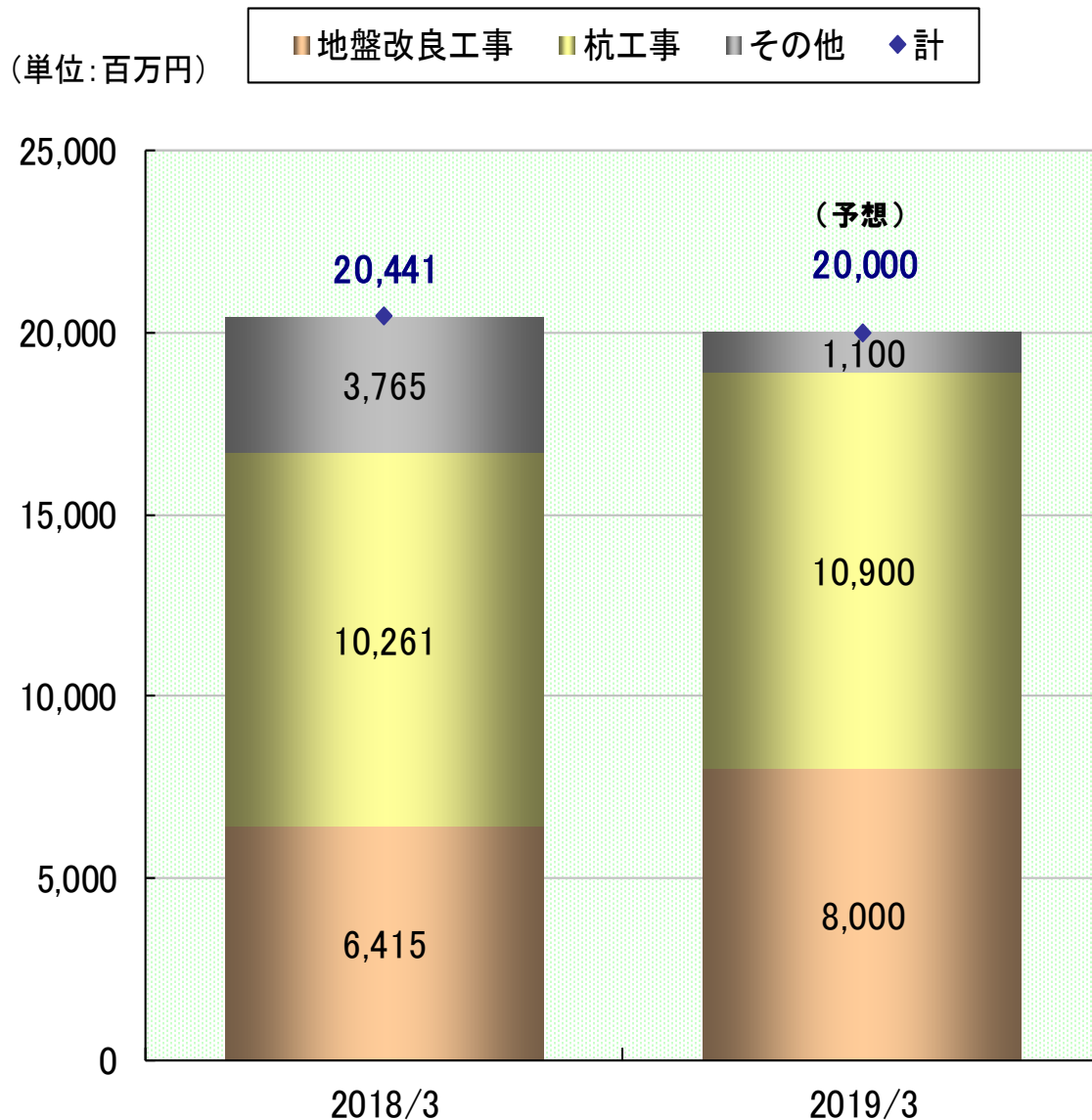
2019年3月期の業績予想(連結)



- 売上高：鉄道関連などの杭工事が増加するものの、大型の物流施設工事が減少
- 利益：研究開発費用等が増加するものの、売上総利益の増加で吸収

■売上高	《予想》 200億円	2018/3期比 Δ4億41百万円(Δ2.2%)
■営業利益	《予想》 9億円	2018/3期比 +1億50百万円(+20.1%)
■経常利益	《予想》 9億50百万円	2018/3期比 +1億64百万円(+20.9%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 7億円	2018/3期比 +1億76百万円(+33.6%)

連結売上高予想



- **杭工事:**
主に鉄道関連や震災復興関連が増加
- **地盤改良工事:**
主に民間工場関連などが増加

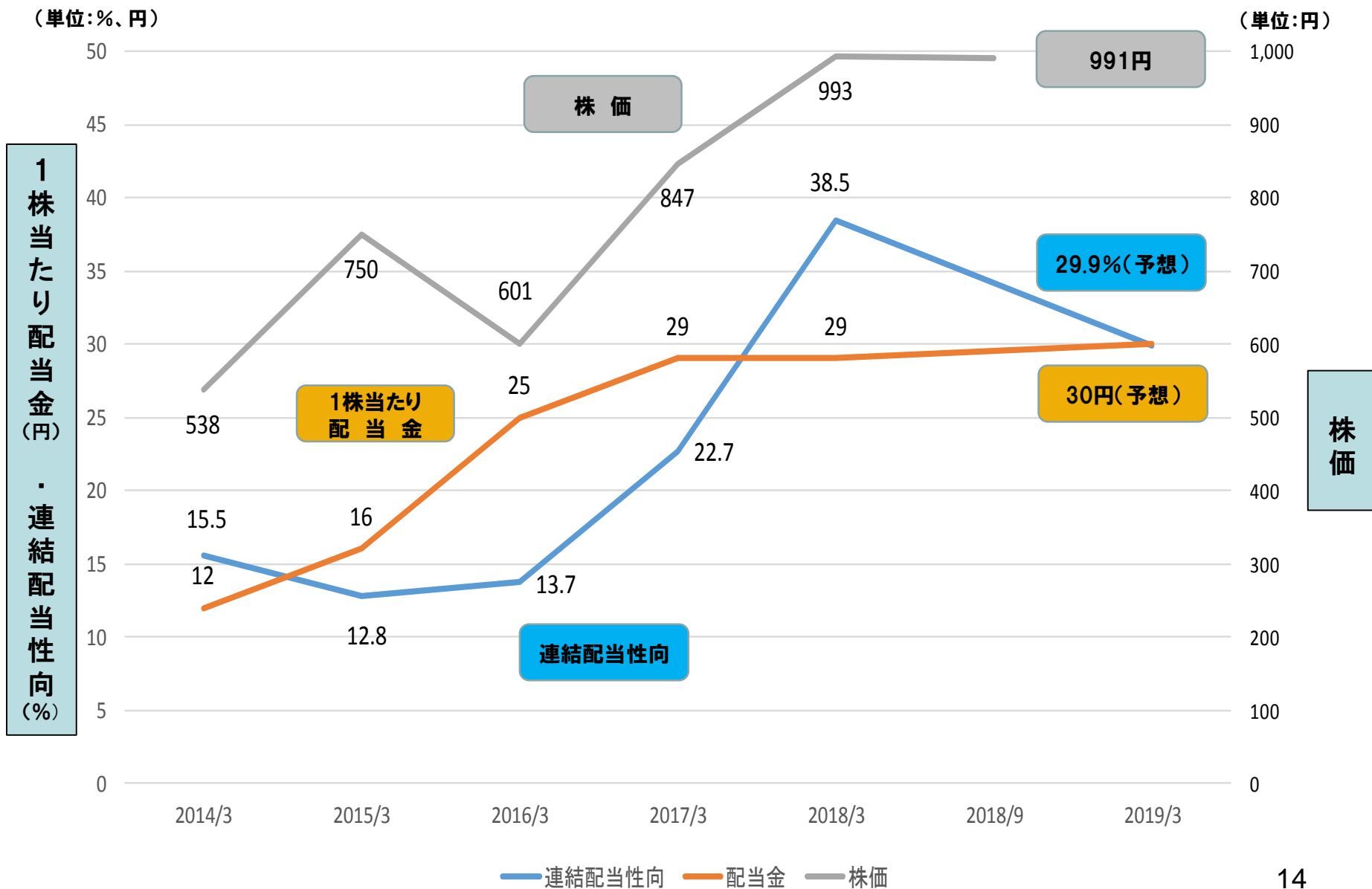
2019年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 4億円	2018/3期比 Δ 2億85百万円(Δ 41.6%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	2018/3期比 +76百万円(+17.9%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 1億25百万円	2018/3期比 +84百万円(+208.0%) ✓ 主に施工管理装置の高度化、保有工法の付加価値向上
■従業員数	《予想》 186名	2018/3期比 10名増

(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2014/3期から2019/3期)

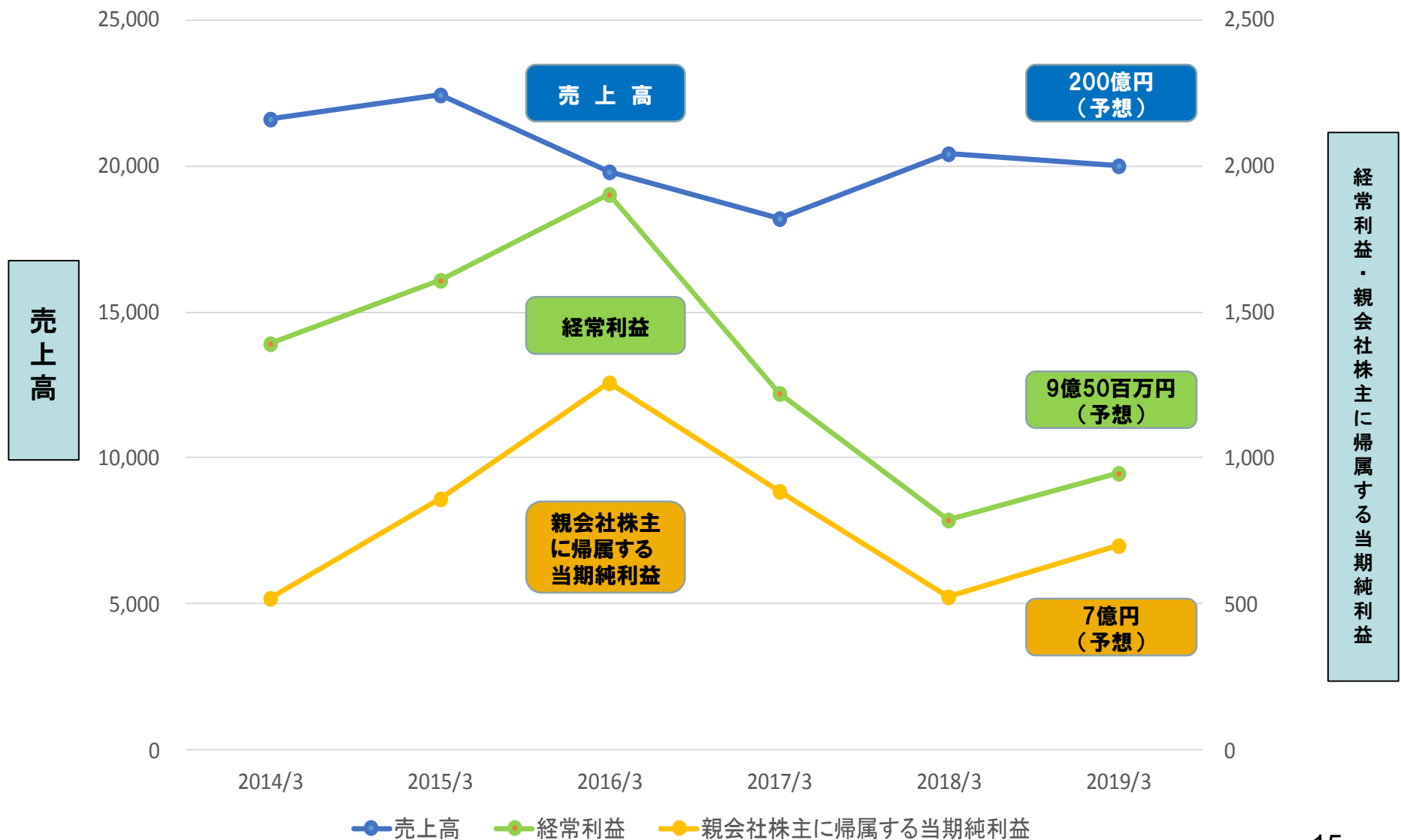


(ご参考)連結業績推移 (2014/3期から2019/3期)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



(ご参考)連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3 (予想)
売上高	20,338	16,448	17,628	19,829	21,601	22,427	19,830	18,226	20,441	20,000
売上原価	17,860	15,155	16,042	17,338	18,305	18,834	16,296	15,432	17,877	
売上総利益	2,478	1,293	1,585	2,491	3,295	3,593	3,533	2,794	2,564	
販売費及び 一般管理費	2,075	2,092	1,877	1,946	1,981	2,051	1,570	1,732	1,815	
営業利益	402	△799	△291	544	1,314	1,541	1,962	1,062	749	900
経常利益	404	△786	△299	644	1,394	1,610	1,905	1,224	785	950
(売上高 経常利益率:%)	(2.0)	(△4.8)	(△1.7)	(3.2)	(6.5)	(7.2)	(9.6)	(6.7)	(3.8)	(4.8)
税金等調整前 当期純利益	555	△886	△310	639	1,420	1,633	1,900	1,214	748	
親会社株主に帰属する 当期純利益	231	△735	△327	498	521	861	1,257	886	523	700
(売上高 当期純利益率:%)	(1.1)	(△4.5)	(△1.9)	(2.5)	(2.4)	(3.8)	(6.3)	(4.9)	(2.6)	(3.5)
	2010/3 期末	2011/3 期末	2012/3 期末	2013/3 期末	2014/3 期末	2015/3 期末	2016/3 期末	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末(予想)
純資産	8,832	7,751	7,329	7,825	8,822	9,814	10,338	11,021	11,393	11,900
総資産	15,606	14,542	14,669	14,949	16,436	16,910	16,481	16,780	17,992	18,500

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える



ホームページ: <http://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画情報推進部 予算・IRグループ

<https://www.tenox.co.jp/contact/ir.html>

電話: 03-3455-7787